

特殊精錬部会

第10回第5分科会 開催日：6月8日。出席者：小林主査，ほか14名。

次の2題につき研究発表が行なわれた。

1. 「ESW 溶接金属の元素分布に及ぼすフラックス組成の影響および介在物の形態について」(阪大 岩本委員)

フラックス組成による溶接金属の元素分布介在物の形態の変化を調べ，不純物元素量と靱性との相関を検討した。

2. 「石油化学用 HK40 溶造管の性質」(三菱重工 浜中氏)

HK40 溶造管の2万時間使用後のマクロ，ミクロの性質を調べ，遠心鑄造管と比較検討した。

第7回第7分科会 開催日：6月2日。出席者：井上主査，ほか17名。

次の4件の研究発表が行なわれた。

1. CaF₂系スラグによる溶鉄の脱硫速度(九大・森，竹内，岸本，川合)

2. DCSP 再溶解における硫黄の移行(名大・井上，長谷川，名工試・加藤)

3. 大型 ESR 鋼塊における成分移動(日鋼室蘭・鈴木)

4. ESR におけるスラグ流動の理論解析(名大・井上，浅井，岩崎)

微量元素の偏析部会

第7回部会 開催日：5月25日。出席者：須藤一部

会長，ほか22名。

1. 場所 日本鉄鋼協会会議室

2. 議事概要

〔研究発表〕

以下の様に4件の研究発表と2件の依頼講演を行なった。

①McMahon の非平衡偏析説について ……堂山

②メスパワー効果による Fe 粒界に偏析した

Sn の状態の解析 ……石田

③高 Cr-フェライトステンレス鋼溶接部の機

械的冶金学的挙動 ……落合

④γ/γ', Fe₃C/γ, Fe₃C/α 界面における P, C

の偏析 ……須藤

⑤AES の定量性について(依頼講演) ……小林

⑥オージェスペクトルの定量性(依頼講演) ……清水

高温変形部会

第1回部会 開催日：5月13日 出席者：田村部会長，ほか32名。

田村部会長から部会設立までの経過報告，部会概要説明があり，各委員が自己紹介を行ない，次いで研究分担について討議を行なった後，下記テーマによる講演があった。

講演テーマ

1. 高温変形概論

2. 純金属ならびに合金の高温変形機構

3. 熱間変形抵抗と高温変形機構

4. 炭素鋼の領域における高温変形挙動

第9回結晶成長国内会議(NCCG-9)

主催：日本結晶成長学会(JACG)

協賛：12学協会(交渉中)

日時：1977年8月29日(月)～31日(水)

場所：東京都新宿区神楽坂 東京理科大学

招待講演：

(1) 反射高速電子回折(RHEEDによる新しい表面研究法) 東北大・金研 井野 正三

(2) シリコン中の転位ループとその電気的特性 日本電気・中研 白木 広光，松井 純爾

(3) 金属無転位結晶の成長と評価

原研 鎌田 耕治

(4) 気相からの氷の結晶成長

東理大・理工 権田 武彦

一般講演 約80件

参加方法 参加費 1,000円を当日会場受付で支払う。

問合せ先 〒162 東京都新宿区神楽坂

東京理科大学工学部 橋口研究室

Tel. 03-260-4271 (内線 439 または 488)

正 誤 表

『鉄と鋼』，f3(1977)5, pp. 736～747

『自動車排気ガス中におけるステンレス鋼の高温腐食挙動』

頁	行 目	誤	正
746	Table 9 の題目	……CO-CO ₂ -COS-180 ppm……	……CO-CO ₂ -COS-18 ppm……